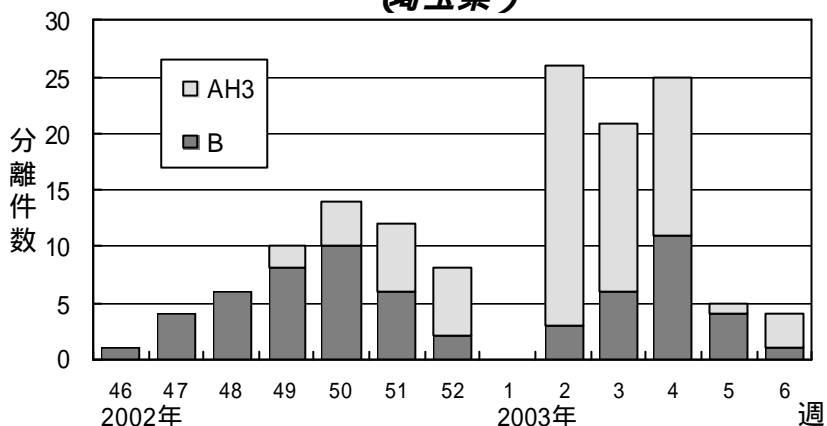


インフルエンザ - ウイルス分離状況 -

1 検体採取週別のウイルス分離状況

今シーズン国内で分離されたウイルスは、A 香港(AH3)型と B 型の 2 種類です。全国的な集計では、シーズン当初から A 香港型が B 型に比べて圧倒的に多数であるのに対し、県内では下図のように B 型ウイルスの分離が先行し、今年に入ってから A 香港型の分離が目立ってきています。第 7 週までの分離数は、A 香港型 74 株、B 型が 62 株です。

検体採取週別インフルエンザウイルス分離数
(埼玉県)

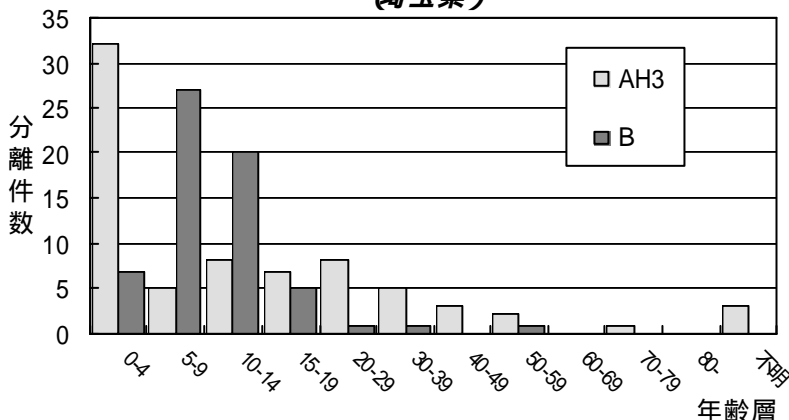


2 年齢層別のウイルス分離状況

県内の B 型ウイルスは、学齢期児童からの分離がほとんどを占めています。A 香港型は、各年齢層から分離されていますが、就学前の幼児からの分離が特に多い状況です。

病原体定点の先生方には、引き続き検体採取に御協力をお願いいたします。

年齢層別インフルエンザウイルス分離数
(埼玉県)



インフルエンザに関する全国情報については、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) で御覧になれます。